

久留米大学では、他施設と共同で実施する下記研究のために、受診時に患者さんから取得された試料と診療情報等を共同研究機関に提供しています。

なお、下記研究は久留米大学の倫理委員会にて「社会的に重要性が高い研究」等の特段の理由が認められ、研究機関長の承認を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡下さい。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

【研究課題名】 思春期女性への HPV ワクチン公費助成開始後における子宮頸癌の HPV16/18 陽性割合の推移に関する疫学研究

【共同研究の研究代表機関及び研究代表者（試料・情報の管理責任者）】

研究代表機関（研究代表者）：東北大学医学部産科学婦人科学分野 教授 八重樫 伸生

（副研究代表者、AMED 研究代表者）：昭和大学医学部産婦人科学講座 教授 松本 光司

試料・診療情報等の提供先：国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター、昭和大学医学部産婦人科学講座、岩手医科大学 教育教養センター 情報科学科

【研究分担施設・研究責任者】

・久留米大学医学部 産婦人科 教授 牛嶋 公生

・別紙参照

【試料・診療情報の対象者（研究対象者）】

1) 受診期間：倫理委員会承認後から西暦 2025 年 12 月の間に受診

2) 受診科：久留米大学産婦人科および共同研究機関の各診療科

3) 対象疾患名：子宮頸癌、子宮頸部上皮内腫瘍、上皮内腺癌と診断された方

【試料・診療情報等の項目】

試料：【子宮頸部細胞】

診療情報等：【病歴、診断名、年齢、病期、組織型、治療法、妊娠分娩歴、HPV ワクチン接種歴、初交年齢、性交経験人数、性病治療歴、喫煙歴】

授受の方法： 郵送・宅配 電子的配信 直接手渡し その他（ ）

【研究目的】

上記の試料・診療情報を使用し、思春期女性への HPV ワクチン公費助成開始後における子宮頸癌の HPV16/18 陽性割合の推移についての解明を目的とした共同研究実施のため。

【研究（利用）期間】 久留米大学倫理委員会承認後から西暦 2026 年 12 月まで

【利益相反に関する事項】

本研究は特定企業からの資金援助はないため利益相反は発生しません

【問い合わせ先】

（本学）研究責任者：久留米大学医学部産婦人科学講座 教授 牛嶋 公生

問い合わせ担当者：久留米大学医学部産婦人科学講座 河野 光一郎

電話：0942-31-7573

E-mail: kawano_kouichirou@kurume-u.ac.jp

【研究分担施設・研究責任者】(続き)

北海道大学 大学院医学研究院 産婦人科	教授 渡利 英道
国立がん研究センター中央病院 婦人腫瘍科	病棟外来医長 石川 光也
がん研有明病院 婦人科	部長 竹島 信宏
筑波大学医学医療系 産婦人科	教授 佐藤 豊実
埼玉県立がんセンター 産婦人科	副院長 横田 治重
埼玉医科大学 医学部 産婦人科	教授 藤原 恵一
琉球大学 医学部 産婦人科	教授 青木 陽一
兵庫県立がんセンター 婦人科	地域医療連携部長兼婦人科部長 山口 聡
神奈川県立がんセンター 婦人科	部長 加藤 久盛
四国がんセンター 婦人科	手術部長 竹原 和宏
九州がんセンター 婦人科	婦人科長 岡留 雅夫
九州大学 医学研究院 産婦人科	准教授 矢幡 秀昭
近畿大学 医学部 産婦人科	教授 松村 謙臣
大阪国際がんセンター 婦人科	主任部長 上浦 祥司
京都大学 医学部 産婦人科	教授 万代 昌紀
岡山大学 医学部 産婦人科	准教授 中村 圭一郎
熊本大学 医学部 産婦人科	教授 片渕 秀隆
自治医科大学 医学部 産婦人科	教授 藤原 寛行
静岡県立がんセンター 婦人科	部長 平嶋泰之